

# 環境経営レポート

発行年月日:2020年07月10日

対象期間:2019年04月01日~2020年03月31日





AKAI Industry Co., Ltd.

### ご挨拶

### ---ふたつのHeartで明日を創ります---

#### 第1のHeart

地球資源の枯渇にともない叫ばれてきた「循環型社会の構築」。当社もまたリサイクルの一翼 を担う企業として、産業廃棄物の「適正処理」及び「再生利用」を行うことで、環境負荷の少 ない社会への実現に貢献できるよう事業活動を行っています。

### 第2のHeart

橋梁、鉄道、道路、ビルディング、河川の護岸などの構築物のすべてに数多くの砕石が使われ、私たちの暮らしを支えています。しかし、砕石にもいろいろな種類があり、TPOに応じた 適材適所の資材供給をすることが必要です。

私たち赤井工業はこれまでに培ってきた多くの経験と実績から、安全で快適な砕石事業と、循環型社会形成のための真摯な活動を実践しており、より一層計画的に継続していくために平成25年からエコアクション21に取り組んでおります。

このレポートはその結果を取りまとめたものです。

皆様方にご高覧をいただければ幸いです。

2020 年 7 月 10 日赤井工業株式会社代表取締役 宮本 清富



## 目 次

01.	組織の概要	1
02.	認証登録の対象組織・活動	3
03.	環境経営方針	4
04.	環境経営目標	5
05.	環境経営計画	6
06.	環境経営目標の実績	7
07.	環境経営計画の取組結果とその評価	
	次年度の取組内容	8
08.	環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価	
	の結果並びに違反、訴訟等の有無	9
09.	代表者による全体評価と見直しの結果	10
10.	環境経営状況(教育及び外部コミュニケーション)	11

#### 1 組織の概要

(1) 事業所名及び代表者氏名 赤井工業 株式会社

代表取締役 宮本 清富

(2) 所在地及び電話番号

和歌山県岩出市畑毛226番地 ②RCセンター 和歌山県紀の川市神通200-2 ①本社 ③神通砕石工場 和歌山県紀の川市神通200-2 ④建設発生土処分場 和歌山県紀の川市中畑神子平500番

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者 赤井 靖

担 当 田村 友彦 電話: 0736-62-5800 FAX: 0736-62-5801

(4) 事業の概要

産業廃棄物収集運搬・中間処理(破砕・天日乾燥・造粒固化) 砕石・砕砂・再生骨材・改良土の製造販売、土木工事・建設発生土中間処理・最終処分

(5) 法人設立年月日 昭和44年8月

(6) 事業規模

資本金 1,000 万円

1,147 百万円(2019年度) 売上高

産業廃棄物取扱量 (中間処理量204,519 t 収集運搬量 147,954 t)

	本社	RCセンター	砕石工場	合計
従業員数(人)	13	4	15	32
敷地面積(㎡)	399	21,151	467,886	489,436
床面積(㎡)	143	_	33,322	33,465

※従業員数は2020年6月1日現在 ※土木工事・建設発生土処分場の常勤社員は配置していない

#### (7) 事業年度 4月~3月

(8) 許可等の内容

・産業廃棄物収集運搬業(積替えを含まない)

· 産業廃棄物処分業(中間処理)

• 一般建設業

· 砕石業 (採石認可 · 林地開発許可)

·建設発生土処理(中間処理·最終処分)

#### (9) 産業廃棄物処理業許可内容

収集運搬	収集運搬業(積替を含まない)															
許可行政	許可番号	許可年月日	有効期限	汚泥	廃プラ	紙くず	木くず	繊維くず	動植物残渣	金属くず	ゴムくも	ガラスくず	がれき類	鉱さい	燃え殻	ばいじん
和歌山県	3001135471	2014.11.17	2021.11.16	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0		
大阪府	2700135471	2017.07.09	2024.07.08	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0
兵庫県	2800135471	2017.04.27	2024.04.26	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
奈良県	2900135471	2018.02.14	2025.02.13	0	0	0	0	0		0	0	0	0			
福岡県	4000135471	2017.03.22	2022.03.21	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	

#### 処分業(破砕·天日乾燥·造粒固化)

和歌山県	3021135471	2014.11.17	破 砕:無機性汚泥・ガラスくず・がれき類・鉱さい 天日乾燥:無機性汚泥 造粒固化:無機性汚泥

#### 産業廃棄物処理業優良認定

	取得年月日	許可の種類
和歌山県	2014.11.17	収集運搬業·処分業
兵庫県	2017.4.27	収集運搬業
大阪府	2017.5.30	収集運搬業
奈良県	2018.2.23	収集運搬業

### (10) 建設発生土処理許可内容

	許可番号	許可年月日	許可の種類
和歌山県	05140002	2018.05.17	特定事業許可
和歌山県	05230018	2018.06.01	最終処分場指定
和歌山県	03050004	2020.07.07	特定事業許可

### (11) 保有施設概要

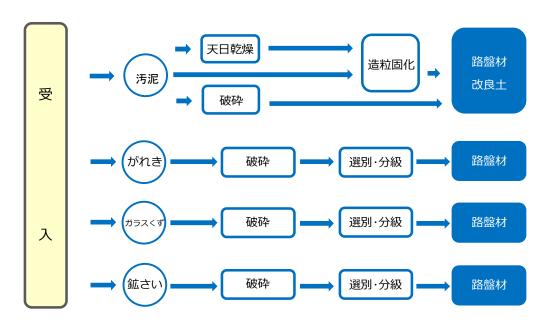
用途	種類	車種	台数
営業車両	軽自動車	乗用車	2
(ガソリン車)	普通車	乗用車	9

	種類	産廃処理用(台)	砕石用・処分用(台)
	フ゛ルト゛ーサ゛ー		3
ディーゼル車	1ンホ゛	4	7
(重機)	ホイルロータ゛ー	2	3
	ダンプ	43	6
	その他	1	2

種類		設置場所	動力(kW)	処理能力(t/時)
	立成田		95	110
	産廃用		75	70
			150	532
破			170	289
	砕施 砕石用	紀の川市神通	190	226
			190	289
以			190	600
			220	226
			220	370

造粒固化施設	紀の川市神通	無機性汚泥:150㎡/時
天日乾燥施設	紀の川市神通	建設汚泥:98㎡/日

### (12) 処理工程



### 2 認証登録の対象組織・活動

#### (1)登録組織名

赤井工業 株式会社

### (2)対象事業所

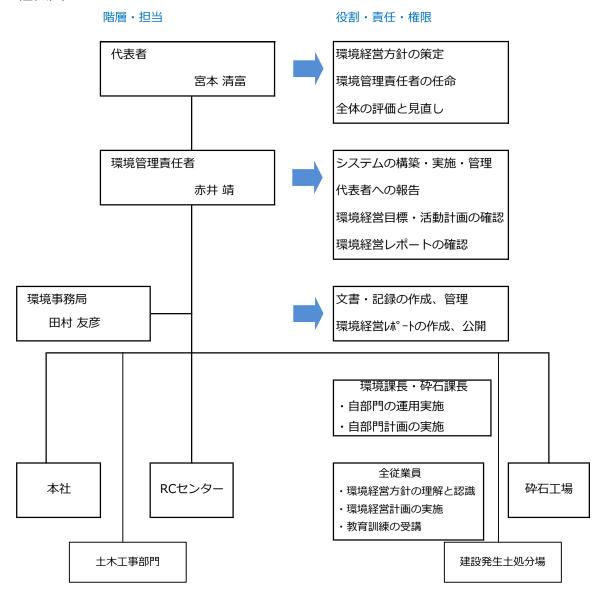
- ①本社
- ②RCセンター:産業廃棄物中間処理(破砕・天日乾燥・造粒固化)
- ③神通砕石工場
- ④建設発生土処分場

#### (3)対象事業内容

産業廃棄物収集運搬・中間処理(破砕・天日乾燥・造粒固化) 砕石・砕砂・再生骨材・改良土の製造販売 建設発生土中間処理・最終処分

※一般建設業については実績が出次第、対象事業活動に加える。

### 3 組織図



### 3 環境経営方針

### <基本理念>

昭和44年に会社設立以来、当社は「ハイ・クオリティの追及」を原点に、砕石製品の製造から始まり社会の環境へのニーズに対応するため産業廃棄物の収集運搬と中間処理を行ってまいりました。今後の事業展開を進めていく中で、深刻化する地球温暖化や、地下資源の枯渇への対応が人類共通の喫緊の課題との認識にたち、事業活動における環境負荷の低減を図るために、全社一丸となって自主的・積極的に、環境保全活動に取り組みます。

### <経営行動指針>

- 1. 具体的に次のことに取り組みます。
- ①電力の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減
- ②収集運搬車・重機などの燃料消費に伴う二酸化炭素排出量の削減
- ③自社が排出する廃棄物と受託産業廃棄物の3R(発生抑制、再使用、再資源化)の推進
- ④水資源の節約
- ⑤事務用品などのグリーン購入の推進
- ⑥コピー用紙など、資源の削減
- ⑦水牛牛物の環境保護

これらについて環境経営目標・活動計画を定め、定期的に見直しを行い、継続的な改善に努めます。

- 2. 環境関連法規制や地域との協定を遵守します。
- 3. この環境経営方針を全従業員に周知し、公表します。

制定日:2013年9月1日

改定日:2019年9月1日

赤井工業株式会社

代表取締役 宮本 清富

### 4 環境経営目標

2012年度実績を基準として、12年で12%削減を目途とした中・長期の目標は次の通りです。

環境経	<b>学日</b> 樗		其淮午宦	(2012年	- ( )	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
一大の元川工				, - ,	-汉)	目標値							
		本社	,	kWh		1%減	2%減	3%減	4%減	5%減	6%減	7%減	8%減
	電力使用量	<b>%1</b>	14,858	kg-CO <sub>2</sub>		14,710	14,561	14,413	14,264	14,115	13,967	13,818	13,670
	の削減	工場	1,127,430	kWh		5%減	6%減	7%減	8%減	9%減	10%減	11%減	12%減
	排出係数	-	498,324	kg-CO <sub>2</sub>		473,408	468,425	463,441	458,458	453,475	448,492	443,508	438,525
	※欄外参照	全社	1,161,046	kWh									
二酸化炭素		<b>%</b> 4	513,182	kg-CO <sub>2</sub>		488,118	482,986	477,854	472,722	467,590	462,458	457,327	452,195
排出量の削減			ガソリン	21,182	L	1%減	2%減	3%減	4%減	5%減	6%減	7%減	8%減
	燃料使用量	全社	<b></b> 2	49,141	kg-CO <sub>2</sub>	48,650	48,159	47,667	47,176	46,684	46,193	45,701	45,210
	の削減	土仁	軽油	578,103	L	5%減	6%減	7%減	8%減	9%減	10%減	11%減	12%減
			+土/山	1,491,506	kg-CO <sub>2</sub>	1,416,930	1,402,015	1,387,100	1,372,185	1,357,270	1,342,355	1,327,440	1,312,525
	CO <sub>2</sub> 合計	全社 ※4	2,053,	829	kg-CO <sub>2</sub>	1,953,698	1,933,160	1,912,621	1,892,083	1,871,545	1,851,006	1,830,468	1,809,930
廃棄物	自社廃棄物 排出抑制	全社 ※3	可燃一廃 排出量	519	kg	4%減	5%減	6%減	7%減	8%減	9%減	10%減	11%減
排出量の削減	受託産廃 資源化の 推進	RC	中間処理後 最終処分率 5%以下維持	5	%	5%	5%	5%	5%	4%	4%	4%	4%
用水使用量 の削減	上水使用量 の抑制	本社	上水使用量	469	m³	5%減	6%減	7%減	8%減	9%減	10%減	11%減	12%減
	雨水利用の 導入	本社	雨水使用量	未導入	m³	無計量							
	グリーン 購入の拡大	本社	Iコマーク付き事 使用3		%	40	40	40	40	45	45	45	45
	製品及び サービスに	RC	電子マニュフェスト 使用率	30	%	30	30	30	30	30	30	30	30
環境経営の 推進	関する 環境配慮	本社	協力会社(CII) 連絡会議で要認		会議	実施							
	コミュニ ケーション	全社	部門間のコ	ミュニケーションの	の推進	定期的実 施	定期的実施	定期的実施	定期的実 施	定期的実施	定期的実施	定期的実施	定期的実施
	と地域貢献 活動	土江	漳	<b>持</b> 掃活動		週1回							

- ※工場: RCセンターと砕石工場・建設残土最終処分場の合計 RC: リサイクルセンター
- ※電力の $CO_2$ 排出係数は、㈱エネットの2019年度数値0.442Kg- $CO_2$ /kWh

がソリン: 2.32kg-CO<sub>2</sub>/L 軽油: 2.58kg-CO<sub>2</sub>/L

- ※PRTR対象の化学物質の使用はありません。
- ※グリーン購入の拡大で、エコマーク付き事務用品の品目を毎年1種類増やしていたが購入率に変更
- ※1 本社電力は従業員が増えたため、2016年度実績を基準とします。
- ※2 全社ガソリンは営業車・場内車が増えたため、2016年度実績を基準とします。
- ※3 一般廃棄物は2012年度データがないため、2013年度実績を基準とします。
- ※4 全社電気使用量・CO2合計は基準年度が異なるため、目標数値は未記入。
- ※5 基準年度の軽油と重油を合計しております。産業廃棄物の収集運搬用燃料は庸車のため、計上していません。

### 5 環境経営計画

環境経営方針と環境経営目標達成のための経営計画は次の通りでサイト毎に取り組んでいます。

### 環境経営計画

### 取組サイト

### (1) 二酸化炭素排出量の削減

		本社	RCセンター	砕石工場	残土処分場
	① プラントの節電管理の徹底		0	0	_
電	② 運転停止時の電源OFF	_	0	0	_
カ	③ エアコン温度管理の徹底	0	0		_
	④ 事務機・照明等の節電	0	_	_	_
	⑤ 重機の経済的運転	_	0	0	0
燃	⑥ 重機のメンテの徹底	_	0	0	0
料	⑦ エコドライブの徹底	0	0	0	0
	⑧ 場内運搬の効率化	_	0	_	_

### (2) 廃棄物排出量の削減

一廃 ① 社内廃棄物の分別徹底	0	_	_	_
産廃②中間処理後最終処分量の抑制	制 一	0	_	_

### (3) 用水使用量の削減

L	① 散水・洗車節水の徹底	0	0	0	_
水	② 手洗い時の節水の徹底	0	0	0	0
. 3 (	③ 漏水点検の徹底	0	_	_	_

### (4) グリーン購入の拡大

① エコマーク付事務用品の選択的使用	0	_	_	_
--------------------	---	---	---	---

### (5) 環境配慮活動

① 電子マニフェスト使用拡大	0	_	_	_
②協力会社へのエコドライブ啓発	0	0	_	_
③ 部門間のコミュニケーションの推進	0	0	0	_
④ 周辺道路の清掃	0	0	0	0

### 6 環境経営目標の実績

対象期間として2019年4月から2020年3月まで取り組んだ実績と数値評価は次のとおりでした。 ※電気の $CO_2$ 排出係数: 0.442kg- $CO_2$ /kWh

全 社

	目標(201	9年4月~2020年3月)	実績(2019年4月~2020年3月)			評価
	削減%	目標値	実績値	%	増・減	計៕
電気(kWh)	- ※1	1,081,117	587,680	45.6	減	0
ガソリン(L)	3	20,546	18,894	8.0	減	0
軽油(L)	7	537,636	524,570	2.4	減	0
$CO_2$ $\mp$ $(kg-CO_2)$	- ※1	1,912,621	1,656,979	13.4	減	0
自社排出一般廃棄物(kg)	6	488	255	47.7	減	0
中間処理後最終処分量	%	5.0	0.0	1	_	0
用水使用量(m³)	7	436	97	77.8	減	0
グリーン購入(購入率)	%	40	59	47.5	増	0
電子マニュフェスト使用率	%	30	42	40.0	増	0

### 本 社

	目標(201	9年4月~2020年3月)	実績(2019年4月	評価		
	削減%	目標値	実績値	%	増・減	計画
電気(kWh)	3	32,608	30,460	6.6	減	0
ガソリン(L)	3	16,938	15,414	9.0	減	0
$CO_2$ $\ddagger$ $(kg-CO_2)$	3	53,708	49,224	8.3	減	0
自社排出一般廃棄物(kg)	6	488	255	47.7	減	0
用水使用量(m³)	7	436	97	77.8	減	0
グリーン購入(購入率)	%	40	59	47.5	増	0

### 工 場(RCセンター・砕石工場)

	目標(201	9年4月~2020年3月)	実績(2019年4月	     評価		
	削減%	目標値	実績値	%	増·減	計画
電気(kWh)	7	1,048,510	557,220	46.9	減	0
ガソリン(L)	3	3,608	3,480	3.5	減	0
軽油(L)	7	537,636	524,570	2.4	減	0
CO <sub>2</sub> 計(kg-CO <sub>2</sub> )	- ※1	1,858,913	1,607,755	13.5	減	0
中間処理後最終処分量	%	5.0	0.0	0.0	_	0

<sup>※</sup> 全社電気使用量・CO2の合計、工場CO2の合計は基準年度が異なるため一律での削減数値を 記入していません。

<sup>※</sup> 建設発生土処分場で使用するガソリン・軽油については共用のため工場に含まれています。

### 7 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

当社の期間内における環境経営計画の取組結果と評価及び次年度における取組項目については、次のとおりです。

=:::::	$/\pi$		- C∏. DFK	で実施し		-
=11/	1mm / 💳 ?	ソノノノト		(*) <del>   </del>	·+ I ·	. 1—
	шиол	ヘレノニ	ルメルロ		ノヘレ	

5:100%実施できた 4:75%程度実施できた 3:実施できたのは50%程度であった

2:25%程度しか実施できなかった 1:実施できなかった

### (1) 二酸化炭素排出量の削減

活動計画	評価	今後の方針	次年度取組
①プラントの節電管理の徹底	5	急激な負荷運転を防止する	0
②運転停止時の電源OFF	5	機械類の停止後の速やかなOFFを徹底する	0
③エアコン温度管理の徹底	5	夏28度冬20度を目標とする	0
④事務機・照明等の節電	5	不要な照明の消灯を徹底する	0
⑤重機の経済的運転	5	過負荷運転をしない	0
⑥重機のメンテの徹底	5	定期的に整備する	0
⑦エコドライブの徹底	5	急発進、急加速をしない	0
⑧場内運搬の効率化	4	空荷運転を避ける	0

### (2) 廃棄物排出量の削減

①社内廃棄物の分別徹底	5	分別BOXに入れる	0
②中間処理後最終処分量の抑制	5	造粒固化率を維持する	0

### (3) 用水使用量の削減

①散水・洗車節水の徹底	5	特に洗車用水の節水を徹底する	0
②手洗い時の節水の徹底	5	常に節水を意識し実施する	0
③漏水点検の徹底	5	月に一回メーターの確認を実施する	0

### (4) ゲリーン購入の拡大

①エコマーク付事務用品の選択的使用	5	エコ消耗品の利用拡大を図る	0
-------------------	---	---------------	---

### (5) 環境配慮活動

①電子マニフェストの使用拡大	4	電子マニュフェスト未使用者への普及を図る	0
②協力会社へのエコドライブ啓発	4	協力要請を定期的に行う	0
③部門間のコミュニケーションの推進	4	こまめに情報交換を行う	0
④周辺道路の清掃	5	定期的に清掃を行う	0

### 8 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

(1) 当社に関係する環境関連法令と遵守状況は次のとおりです。

No	法律・条例・その他 名称	規制・規定の内容	当社対応状況	遵守状況
廃棄物の処理及び 清掃に関する法律 1 岩出市廃棄物の処理 及び清掃に関する条 例(一般廃棄物)	1. 産業廃棄物処理業の許可	許可証		
	運搬車の表示及び書類の携帯			
	2. 産廃処理施設設置許可			
	構造・維持管理基準	点検記録		
	産廃処理施設技術管理者設置	選任届出書	遵守	
	帳簿の記載	帳簿		
	3. 産業廃棄物の受託・委託基準			
	委託契約(2者契約、許可証写)	契約書		
	マニフェスト交付、未回収時報告	マニフェスト綴り		
	4.事業系一般廃棄物	市町村処理		
2	採石法	採石認可	許可証	遵守
3	森林法	林地開発許可	許可証	遵守
4	大気汚染防止法	一般粉じん発生施設届出書	設置届出書	遵守
	和歌山県公害防止条例	特定施設設置届	改造冶山自	
5	水質汚濁防止法	特定施設設置届	該当施設なし	遵守
6	騒音規制法 和歌山県公害防止条例	1. 特定施設 7. 5 kW以上(空気圧縮機・破砕施設)	設置届出書 (空気圧縮 機は、移動式の為不要)	遵守
7	振動規制法 和歌山県公害防止条例	1. 特定施設 7. 5 kW以上(空気圧縮機・破砕施設)	設置届出書 (空気圧縮 機は、移動式の為不要)	遵守
8	家電リサイクル法	1. リサイクルへの協力(家電4品目)	廃棄時	遵守
9	小型家電リサイクル法	1. リサイクルへの協力(ノートパソコン等)	廃棄時	遵守
10	建設リサイクル法	1. 発注者の着工7日前の届出	必要な届出	遵守
11	自動車リサイクル法	1. リサイクルへの協力(新車購入時)	更新時	遵守
12	フロン排出抑制法	1. 業務用Iアコン廃棄時の措置 2. 業務用エアコン等の簡易点検	廃棄時又は点検	遵守
	自動車NOx. PM法	1. 対象地域 大阪府流入規制		
13	大阪府生活環境保全条例	2. 排出基準 H17年規制適合車 3. 車検証	車検証	遵守
14	消防法	2. 消防用設備点検(機器点検·総合点検)	消火器	
		1. 少量危険物 指定数量の1/5以上		
15 火災予防条例		2. 指定可燃物 木くず1000kg以上	保管維持管理	遵守
16	オフロード法	法第4条 使用者の責務 ・法第17条 使用制限	適合車購入	遵守
17	産業廃棄物の保管及び土砂等の不適正 な処理防止に関する条例	特定事業場区域内の浸透水を採集するための措置(調整池)	定期検査	遵守

<sup>※</sup>なお、当社は省エネ法対象規模未満(原油換算1500kL未満)です。

(2) 当社に関係する環境関連法令の遵守状況を確認した結果は、違反はなく、関係当局からの 違反等の指摘は過去3年間ありません。また、訴訟等もありません。

### 9 代表者による全体評価と見直しの結果

#### (1) 全体評価

年間でCO2の目標値は達成している。これは社員が一丸となって取り組んだ結果と考える。今後も計画通り実施すること。今年度は全項目において概ね目標を達成した。取り組みについては、社員の意識も定着し、それぞれが役割分担を果たしている結果、概ね良好と考えられる。

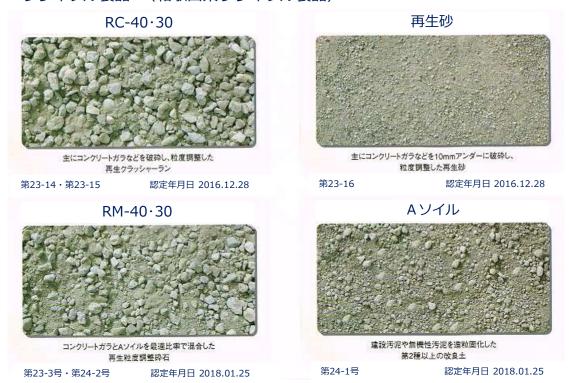
### (2) 見直しについて

用水使用量については水道メーターの分岐工事(集合メーター→独立メーター)が3月に完了した ため今期からは単独集計とした。

### (3) 今後の展望

年間でCO2の目標値は達成したが売上は横ばい傾向である。増収増益の目標に向け全社的に新たな取組みや新しい事業展開を進めていく時期である。それと同時に潜在的な余剰コストを明確にし、再投資していくことや、一層の経費削減に向けて、今迄以上のエコアクションへの取組み及び計画に対して実績を残し、従業員各々が業務の中においても環境への意識を高く持つことが必要不可欠である。そして目標に向けて活動することにより、社員各々の職務分掌も全うできることを期待します。

#### リサイクル製品 (和歌山県リサイクル製品)



### 10 環境経営状況(教育及び外部コミュニケーション)

### ■安全衛生推進会議





■環境教育



■工場付近・定期清掃



■2019度クリーンアップ運動





■緊急事態発生・訓練



■紀の川市との合同清掃(中畑地区)

